環境に関する取り組みに関する実行度評価表

学校名	所沢市立東中学校
環境目標：	限りある資源を大切に使う生徒の醸成

もっとも力を入れた環境活動（自由記述）

活動名

給食の残食や給食で用いるプラスチック用品の削減（リデュース）

どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか

限りある資源を無駄にしないように意識することによって、給食の残食を減らすように努力する生徒が多くなった。また筆記用具や教科書、ノートなどの物に対しても大切に使う生徒が増えた。

活動内容

給食委員が企画し「食品ロスを減らそう」として、主食（角缶）と丸缶、牛乳を対象にキャンペーンを実施した。
主食と丸缶は全員が偏りなく食べることを目的として、片づけをする前の時点で残食があるかを記録し、点数化した（配りきっていたら１点、残っていたら０点）。そして、給食を片づけた後の残食を記録し、点数化した（完食ならば１点、残食があるなら０点）。牛乳については残るか残らないかを記録し、点数化した（完飲したら１点、残っていたら０点）。１日最大４点として設定し、キャンペーン開始１週間前にクラスで告知をしてキャンペーンを全校１週間行った（完食した場合は担任の先生に確認をしてもらった）。
点数は学年廊下の掲示板と、全学年が一覧で見ることができるように２階の廊下のフロアの２カ所に掲示し、点数を記入するようにした。１日１日で記入するため、他のクラスがどのような点数になったのかを確認できるようにした。１週間キャンペーンを行った後、合計点数を計算し順位づけをした。
各学年１位のクラスは後日学年集会等で発表し、給食委員が作成した賞状を用いて表彰を行った。
このキャンペーンによって給食という子どもの健康のためにつくられたものを無駄にしないようにすることが大切だと生徒は学んだ。キャンペーン後でも盛り付けをする際に「残さないように配膳しよう」、片付け前に「できるだけ残さず食べるようにしよう」と給食委員が声がけをするようになった。また、担任が限りある資源の話を筆記用具やノート等の例え話で伝えるクラスもあり、残食以外の日常で使う物を大切にする生徒も増加した。
また、年度初めから給食で用いるストローを使わずに牛乳を飲むクラスもあり、日頃からリデュース活動に貢献するクラスもあった。
今後は道徳や理科などで今回のキャンペーンの目的などをなぞりながら授業を行うことで定期的に小さな振り返りを行う予定である。

活動の写真

3年	12/8(月)	12/9(火)	12/10(水)	12/11(木)	12/12(金)	合計点数	順位
1組	2	3	4	3	2	14	2
2組	2	1	3	2	2	10	4
3組	2	3	3	~~3~~4	3	15	1
4組	2	2	4	3	2	13	3
5組	0	2	1	1	1	5	5